

カンショ産地PR、消費者交流を担える女性農業者育成

鹿行農林事務所 経営・普及部門（銚田地域農業改良普及センター）

カンショ生産では、近年様々な新品種の登場により栽培技術・販売状況の変化が予想されます。そこで、銚田市で生産を担う女性を対象に、幅広くカンショに関する知識習得を図るとともに、生産者同士の交流を進め、全国一位の農業産出額（2006年農林水産統計年報）を誇る銚田市の産地PR、消費者交流を担える人材育成を目指しています。

栽培に関する知識の習得

貯蔵中のカンショの糖含量変化、カンショに発生する主な病害虫、育苗方法の実際など、カンショ生産に関する講座を計3回にわたり実施しました。

受講生からは講座を通して、日頃の作業で「どうしてこうするのか？」と疑問に思っていた点の理解が深まったとの感想が聞かれました。また、受講生同士の情報交換によってそれぞれの経営を振り返る機会となり、主体的に作業に取り組む一助になりました。



食べ方の研究

カンショを材料としたスイーツやカンショを使った総菜の加工実習を行いました。

品種が違ふとできあがった料理にどのような特徴が出るかなどを比較し、検討しました。

受講生から調理方法や、新物か貯蔵物かなど、時期により、おいしい品種が違ふとの意見が出て、食べ方提案のため、よりいっそうの研究が必要と感じました。

都内で流通研修

カンショの消費動向を知るため、都内のスーパーで流通研修を行いました。

受講生は、店内見学やバイヤーとの意見交換を通して、カンショに限らず、生産物そのものより加工されたものが多くなっていることを改めて実感できました。

今後は、消費者との意見交換を行いつつ、受講生同士の交流を深められるよう支援していきます。

